

私立大学環境保全協議会

「第 34 回夏期研修研究会」

日時	9月 9日 (木) 13:00~16:10	オンラインによる講演会
	9月 13日 (月) 14:00~16:30	オンライングループ討議Ⅰ「教育と連携」
	9月 13日 (月) 14:00~16:00	オンライングループ討議Ⅱ「化学物質」
	9月 16日 (木) 14:00~16:00	オンライングループ討議Ⅲ「施設・設備」

※講演会のオンデマンド視聴期間：9月16日(木)～9月30日(木)

第1部 講演会 9月9日(木)

講演会はライブ配信・オンデマンド配信を予定しております。ライブ配信はZoomのウェビナー機能を利用し、チャットにてご意見やご質問をいただくことが可能です。いただきましたご質問は、会場の係が代読させていただきます。なお、休憩時間には賛助会員紹介動画の一部を再生しますので、どうぞご覧ください。

1. 開会挨拶 13:00~13:10 私立大学環境保全協議会 会長

2. 講演 13:10~14:00
「カーボンニュートラル達成に向けた我が国の動きと大学等コアリション、私立大学への期待」
文部科学省研究開発局環境エネルギー課 酒井吉彦

カーボンニュートラル実現に向けた世界的な関心の高まりのなか、国際的には7,000以上の高等教育機関が「気候非常事態宣言」に参画。大学の貢献可能性や大学経営への取込み等の視点から、「カーボンニュートラル達成に向けた大学等コアリション」の活動や方向性について紹介するとともに、私立大学への期待に触れる。

◇休憩 (10分) ◇

3. 講演 14:10~15:00
「大学にとってのカーボンニュートラル実現に向けての方向性」
慶應義塾大学教授 理工学部システムデザイン工学科／
理工学研究科開放環境科学専攻 空間・環境デザイン工学専修主任
伊香賀俊治

文部科学省「大学等における省エネルギー対策の手引き」の策定に関わり、複数の大学キャンパスの環境設備設計と性能検証から得られた知見、学生・教職員の知的生産性・健康性に関する調査結果を含めて、大学にとってのカーボンニュートラル実現に向けての方向性について紹介します。

◇休憩 (10分) ◇

4. 講演 15:10~16:00
「人間共存ロボットは実現できるか？」
～ムーンショット早稲田AIRECプロジェクト～
早稲田大学理工学術院長・創造理工学部総合機械工学科教授 菅野重樹

コロナ禍において人の生活や社会の在り方が変貌しつつある中、Cyber Physical System、AI、ロボットへの期待が、以前にも増して大きくなっています。2020年度に始まった内閣府のムーンショットプログラム目標3でも、「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」が設定されており、人間共存ロボットをはじめとする4つのプロジェクトが採択されました。

この講演では、早稲田大学が中心となり研究を開始した「一人に一台一生寄り添うスマートロボット」のプロジェクトを紹介し、その実現への技術課題、社会課題を考えます。

5. 閉会挨拶 16:00~16:10 私立大学環境保全協議会 副会長

第2部 グループ討議

グループ討議はZoom ミーティングを利用してオンラインで行います。
定員は設けませんが、学生の方のご参加はご遠慮ください。

◆Ⅰグループ：教育と連携 9月13日(月) 14:00~16:30 「食品ロス削減に向けた大学の取り組みを考える」

食品ロス削減に向けた様々なアクター（国、地方自治体、事業者、消費者等）の取り組みに関する2つの講演を参考に、学食等における大学の現状や教職員と学生等の連携について情報交換と意見交換を行います。

プログラム：主査による趣旨説明、参加者全員による自己紹介等（20分）
「食品ロス削減に向けた政府・自治体・企業・市民等の取り組み」
目白大学 社会学部教授 飛田 満（30分）
「食品リサイクルの取り組み～循環型社会の構築をめざして～」
㈱東京クリアセンター 業務本部部長 田波猛志（30分）
質疑応答を含む意見交換（70分）

◆Ⅱグループ：化学物質 9月13日(月) 14:00~16:00 「新実験棟建設に向けた対応について」

前回のグループ討議で取り上げた、新実験棟建設に向けた対応を今回もさらに取り上げ、関係の賛助会員の方より、専門的な知見からご講演いただくとともに、後半は複数のグループに分かれ、テーマに応じた意見交換を行うことを予定しています。

プログラム：「新たな実験棟を建設する際の留意点について」
清水建設㈱ 教育・文化施設設計部グループ長 大西宏明（20分）
「局所排気設備設置の留意点」
㈱ダルトン 施設機器事業部東京支店 坂野麻奈（20分）
「新実験棟建設における高圧ガスの留意点」
寿産業㈱ 営業課長代理 前田将幸
㈱巴商会 技術本部技術営業部 土屋翔太郎、吉田憲司（20分）
3グループに分かれての意見交換（45分）
A. 排気設備 B. 高圧ガス C. 薬品
各グループからの報告（3分程度ずつ）・総括（15分）

◆Ⅲグループ：施設・設備 9月16日(木) 14:00~16:00 「カーボンニュートラル 脱炭素社会の実現に向けて大学ができる貢献について考える」

温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて大学ができる事について、講演やコーディネーター、会員による情報提供・事例報告を踏まえて意見交換します。

なお、9月9日の第1部でご講演される、慶應義塾大学理工学部の伊香賀教授が討議に参加していただけます。第1部講演内容への質疑応答や更に深掘りしたお話が伺えればと考えます。

第1部をご覧なれなかった方は9月10日（金）～16日（木）のオンデマンドでの視聴をお勧めします。9月10日に、Ⅲグループに申し込みをされた方のみ、グループ討議の接続情報と同一メールにて伊香賀先生のオンデマンド公開の視聴URL（waseda BOX）をお送りします。